

# 世界史

## アップデート

# 大 手 小 田

## レコンキスタ

### こゝに注目!

- 8世紀初めにイベリア半島の大半を征服したイスラム勢力を、キリスト教勢力が約800年かけて駆逐した。その歴史は、「レコンキスタ」と呼ばれ、ひとくくりに考えられてきたが、両勢力がそれぞれ一枚岩となって展開したわけではなかった。
- 13世紀には、キリスト教徒の傭兵部隊が、北アフリカでイスラ

ム勢力同士の違いに参加したことさえもあった。

19世紀に国民国家を形成する上でスペインの起源を探し求める風潮の中で、「レコンキスタ」が歴史学用語として使われるようになった。20世紀のフランコ独裁後の民主化を経て近年、両勢力の実態などが見直されている。

# 国家統一 実現の「神話」

711年、北アフリカからヨーロッパのイベリア半島に攻め込んだイスラム勢力は、キリスト教国の西ゴート王国を滅ぼし、半島のほとんどを支配した。

これに対し、西ゴート王の臣下だったペラヨが718年頃、半島北部にアストゥリアス王国を建国して抵抗を始めたと伝わる。キリスト教徒側は、イスラム勢力を少しずつ押し戻し、1492年にグラナダを陥落させて半島から駆逐した。この800年にわたる戦いは、歴史書などで「レコンキスタ(国土回復運動、再征服運動)」と呼ばれ、ひとまとめに扱われてきた。

だが、スペイン語の「レコンキスタ(征服)」の前に「レ(再び)」を付けた「レコンキスタ」という用語について、立石博高・東京外国語大名教授(スペイン近世・近代史)は「そもそも当事者たちは使っていない」と指摘する。歴史用語として定着したのは19世紀、スペインで近代国民国家の形成が進む過程で、「スペイン人」としての意識の源流が求められていた時代だったとする研究書を、メ

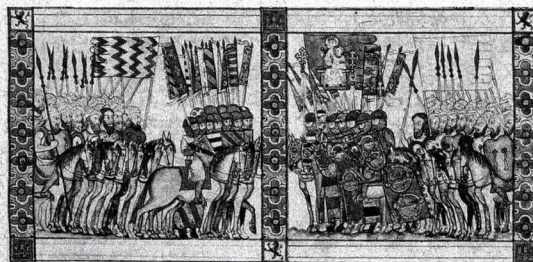
### レコンキスタ関連年表

- 711年 イスラム勢力が西ゴート王国を滅ぼす
- 718年頃 アストゥリアス王国建国
- 1195年 アラルコスの戦い
- 1246年 ナスル朝の君主がカスティーリャ王に臣従
- 1492年 最後のイスラム勢力の拠点グラナダが陥落、ナスル朝が滅亡



キシコの歴史学者が2011年に出版した。これを機に「レコンキスタ」と総称されてきた歴史を見直す研究が、近年相次いでいる。

ペラヨは722年頃、アストゥリアス地方のコバドンガの洞窟に少数の兵士と立てこもり、イスラム勢力の大軍を撃破したとされる。この大勝利は、洞窟に



まつられていた聖母マリアの奇跡として語り伝えられていた。

20世紀初め、この洞窟近くに大きなカトリック聖堂が完成し、1918年には当時の国王臨席のもと、1200年前のペラヨの戦いをたてる式典が行われた。これについて立石名誉教授は、「異教徒追放によって国家統一を実現したレコンキスタという『神話』創造に利用した」とみる。

39年まで続いたスペイン内戦の結果、権力を握ったフランコ将軍の独裁体制では、カトリック教会が重要

「聖母マリア賛歌集」の挿絵。13世紀半ばのマラケシュを巡る戦いを描き、双方の軍勢の前にはキリスト教徒の傭兵が並ぶ。黒田教授提供

クリスト教勢力もイスラム勢力も、「一枚岩ではなかった。黒田教授は「同じ信仰を持つライバルを排除するために、異教徒と手を結ぶことも多かった」と語る。

例えば1195年、北アフリカを本拠としたイスラム王朝ムワッヒド朝の大軍を、イベリア半島中部に建てられたキリスト教国のカスティーリャ王国軍がアラ

な役割を果たしていたこともあり、レコンキスタの歴史が見直されることになった。

75年にフランコ将軍が亡くなり、民主化が始まると状況は変わった。黒田祐我・神奈川大学教授(中世スペイン・地中海交流史)は、「レコンキスタ期のキリスト教、イスラム両勢力の内紛や、関係者の経済的な利害や思惑も含め、多角的な見直しが進み始めた」と言う。

後世に「レコンキスタ」と呼ばれた時代、信仰の異なる人々が対立や衝突を繰り返す一方、時には手を携えた。今後の研究進展で、人間的なドラマがますます明らかになっていくだろう。

(藤原善晴)

しかし、アラルコスの戦いでは、ムワッヒド朝軍にキリスト教徒も加わっていた。当時、キリスト教徒の傭兵がイスラム勢力の下で戦う例は少なくなかった。カスティーリャで13世紀後半に作られた「聖母マリア賛歌集」に載る絵には、13世紀半ばに北アフリカのマラケシュで起きた、ムワッヒド朝と別の王朝によるイスラム勢力同士の戦いで、双方の軍勢の前列にキリスト教徒の傭兵が並ぶ様子が描かれている。

黒田教授は、「人々は信仰心と同時に、世俗的な欲望も強く抱いていた」と指摘し、「当時の北アフリカは金貨が多く流通し、キリスト教徒傭兵にとって格好の出稼ぎ先だった」と言う。

参考文献 黒田祐我『レコンキスタ——「スペイン」を生んだ中世800年の戦争と平和』(中公新書)、立石博高『スペイン史10講』(岩波新書)、立石博高監修・著、小倉真理子著『スペインの歴史都市を旅する48章』(明石書店)、立石博高・内村俊太編著『スペインの歴史を知るための50章』(同)